

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道8号 福井バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	白： 福井県あわら市笹岡 至： 福井県越前市塚原町				延長	42.2km
事業概要	<p>一般国道8号は新潟県新潟市を起点とし、北陸3県（富山、石川、福井）の主要都市及び滋賀県湖東地域を経て、京都市に至る延長約570kmの主要幹線道路であり、沿線地域の産業・経済を支えるとともに、北陸自動車道や名神高速道路などとともに広域ネットワークを形成するなど重要な役割を担っている。</p> <p>福井バイパスは、地域産業の活性化、交通安全の確保、災害時の住民避難支援を目的とした延長42.2kmの道路である。</p>					
S41年度事業化 (H2年度延伸)	S45～S55年度都市計画決定 (H3年度、H8年度変更)	S41年度用地着手		S41年度工事着手		
全体事業費	1,005億円	事業進捗率 (令和3年3月末時点)	約98%	供用済延長	36.8km(4/4車線) 5.4km(2/4車線)	
計画交通量	38,300台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.8  (残事業) 2.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 88/4,158億円 事業費：62/3,860億円 維持管理費：26/298億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 175/7,410億円 走行時間短縮便益：164/6,728億円 走行経費減少便益：7.4/619億円 交通事故減少便益：3.0/63億円	基準年 令和3年		
感度分析の結果	<p>【事業全体】 交通量：B/C=1.5～2.1(交通量±10%) 事業費：B/C=1.8～1.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.7～1.9(事業期間±20%)</p> <p>【残事業】 交通量：B/C=1.6～2.4(交通量±10%) 事業費：B/C=1.9～2.1(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.0～2.0(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>①地域産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井バイパスに近い金津中部工業団地周辺では、平成元年以降、企業立地件数は増加している。</li> <li>暫定2車線開通区間の4車線化による利便性の向上により、さらなる企業進出など地域産業の活性化が期待される。</li> </ul> <p>②交通安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未整備区間の暫定2車線開通により、並行する県道区間から福井バイパスへ約8割の交通が転換した。</li> <li>しかし、暫定2車線である県道区間は中央分離帯が無く、4車線開通済区間の人対車両事故の割合が約2%に対し、県道区間では約8%と高い状況となっている。</li> <li>暫定2車線開通区間の4車線化により、並行する県道区間の交通が転換することで、交通安全が期待される。</li> </ul> <p>③災害時の住民避難支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井県には、全国で最も多い4ヶ所13基の原子力発電所があり、有事の際には原発30km圏に位置する市町から県内および県外に避難する防災計画が平成25年7月に定められた。</li> <li>鯖江市及び越前市の避難先は福井県北部や石川県となっており、その避難経路として北陸道や国道8号が指定されていることから、暫定2車線区間の4車線化は円滑な住民避難の支援に貢献することが期待される。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年10月に加賀市議会・あわら市議会友好交流議員連盟から福井バイパスの整備促進の要望を受けている。</li> <li>令和3年8月にあわら市、福井県福井バイパス道路建設促進協議会、国道8号福井バイパス金津地域建設促進期成同盟会から福井バイパスの整備促進の要望を受けている。</li> </ul> <p>福井県知事の意見：</p>					

国道8号福井バイパスの対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。

国道8号のあわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女間5.4kmについては、平成30年9月に暫定2車線で供用開始し、人流、物流において大きな役割を果たしている。

また、平常時に加え、平成30年2月および令和3年1月の大雪などの災害時における機能強化を図る必要があることから、石川県境部の金津道路、牛ノ谷道路とあわせて、早期に4車線化することは極めて重要である。

引き続き、コスト縮減を図りながら事業を推進し、用地取得が完了していることから、早期の4車線化完成および完成時期の公表をお願いしたい。

#### 事業評価監視委員会の意見

審議の結果「一般国道8号福井バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針（原案）のとおり「事業継続」することが妥当と判断される。

#### 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

福井バイパスの沿線地域（あわら市、坂井市、福井市、鯖江市、越前市）では、人口は横ばい傾向、世帯数、自動車保有台数は増加傾向にある。

#### 事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和41年度事業化（平成2年度延伸）、用地取得率100%、事業進捗率約98%（令和3年3月末時点）現在までに36.8km（4/4車線）開通済、5.4km（2/4車線）暫定開通済。

#### 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

#### 施設の構造や工法の変更等

事業の実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

#### 対応方針

事業継続

#### 対応方針決定の理由

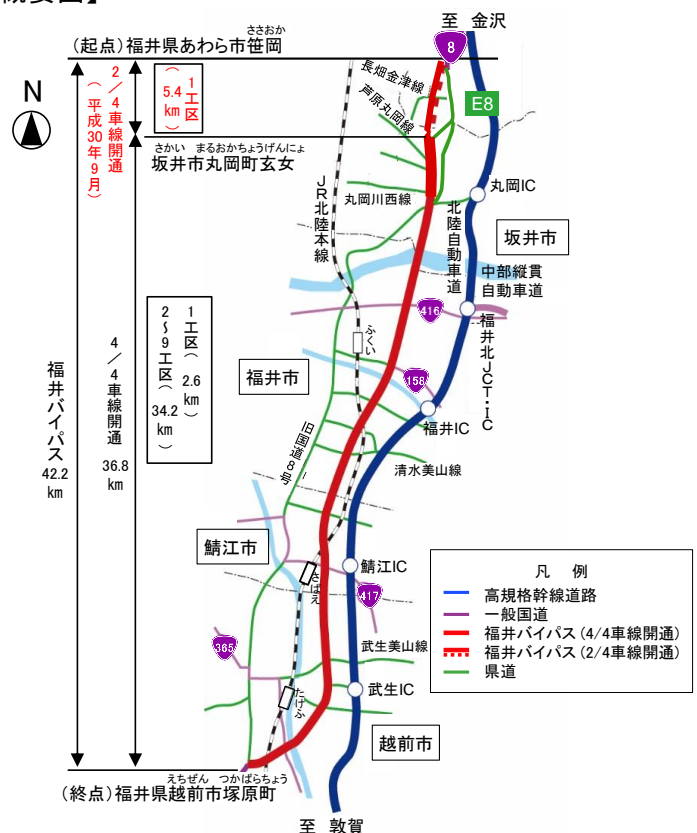
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

#### 事業概要図

##### 【位置図】



##### 【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。